

5 戦略

Hondaのサステナビリティ 18

持続的な成長のために 19

2030年ビジョン 20

マテリアリティ分析 21

Hondaの取り組みとSDGs 22

— サステナビリティマネジメント体制 25

ステークホルダーエンゲージメント 26

研究開発 30

イノベーションマネジメント 31

サステナビリティマネジメント体制

サステナビリティ課題の特定と推進体制

Honda は、サステナビリティ活動の方針や取り組みを議論・検討する場として設定していた「サステナビリティ戦略会議」を、2020 年度より新たに設定した、最高財務責任者を議長とした「コーポレート統合戦略会議」に融合しました。

この会議は Honda の内外環境認識を踏まえた全社の方向性と、コーポレートとして取り組むべき重要課題を合意することを目的としています。

サステナビリティ戦略会議がめざした、「フィロソフィーに根ざした企業活動全体を世の中に示していくことで存在価値を高め、社会からの正当な評価につなげる」といった活動を継続しながら、サステナビリティ視点を反映し

た全社戦略を立案していきます。

また、環境安全領域のさらなる推進強化として「環境安全戦略会議」との連携体制も、見直しを行いました。

全社の方向性と環境安全戦略の一貫性を担保するため、環境安全戦略会議を、コーポレート統合戦略会議で設定した重要課題を受け、環境安全領域の戦略を議論する場として、最高経営責任者（CEO）を議長とした会議体として設定しています。

これらの会議体で検討された重要課題を踏まえて、経営会議や取締役会で全社戦略を決定し、各本部、各子会社の方針・施策として実行しています。

サステナビリティマネジメント体制（2020 年度～）

